

高P連だより

編集・発行 第75号
**愛知県公立高等学校
 P T A 連 合 会**
 事務局 名古屋市中区新栄一丁目49番地10号
 愛知県教育会館6階
 TEL<052>261-5886
 URL <http://aichikoupren.org>
 E-mail info@aichikoupren.org
 印刷 手島印刷株式会社
 TEL<052>522-1635



**大人の熱い思いで
 高校生の人間力を高めよう**

愛知県公立高等学校PTA連合会会長 **長坂光司**

昨年度より、当連合会の役員として活動させていただいております。そこで一番感じていることは、御一緒させていただいている各校の会長さんや校長先生の学校、生徒への熱い思いです。理事会の合間や終了後、話しているといつも学校や生徒の話になっています。「先生、一時間半の通勤はたいへんですねえ」「いやいや、可愛い子どもたちの笑顔に会えると思えば何学校や生徒がどんなに素晴らしいか分かってもらうためにも、PTA総会に多くの保護者に出席してほしいんですよ」「うちの卒業式は先生まで泣いちゃってさ。みんな学校が大好きなんだよね」こんな言葉から思いが伝わってきます。先生方の唯一の愚痴と言えば「公務のために学校を空けることが多いこと」くらいでしょうか。私もこの三年間で学校と生徒が

とても愛おしい存在になりました。皆、思いは同じなんです。また、行政の方々との交流の中で感じることも、同様に教育に対する熱い思いです。そんな今、熱い思いを持った大人たちが力を合わせ、同じ方向を目指し、協力していくことが必要だと痛感します。

先日、こんな記事を目にしました。二〇〇七年から再開された全国学力テストで常に一、二を争うある県（体力テストでも常に上位）では「行政がやるうと言ったことと現場で行われていることのギャップがない」、視察に訪れた人がそう感じるのだそうです。そして筆者はこう結論付けています。「ここでは現場の声をしっかりと受け止めた行政が方向を決め、それを保護者を含めた現場が協力して実践し、フィードバックしていくというサイクルが出来ている



**愛知県公立
 高等学校長会
 会長
 山田賢一**

からだ」と。
 この「あいち」にもこんなに熱い思いを持った多くの大人が日々子どもたちと向き合っています。私たち保護者も「愛と知」をもつてこのようなサイクルの中で、お

**笑顔とあいさつで
 元気になろう**

高P連の皆様には日頃から各学校の教育活動全般を支えていただいております。心から感謝申し上げます。

子どもたちが毎日通う学校は、多くの方が触れ合う場でもあります。「おはようございます」「おはよう」が飛び交う朝は、一日の元気を生み出す源となっています。

ある日のこと、学校への道を歩いているとき、自転車に乗った生徒が「おはようございます」と元気に言いながら追い越していききました。すかさず「おはよう」と返事をして、わたくしも元気になりました。ありがとうございます。

子どもたちの規範意識やコミュニケーション能力を育成しようと思えます。まずはあれもこれもと欲張るのではなく、ただ、「笑顔

互いの立場や組織を尊重し合いながら、建設的な意見を述べ、同時に自分の責任を自覚しながら行動していきたいものです。

「あいち」の高校生たちの人間力をさらに高めるために。

「心の教育」がますます大切になっていきます。心を育てるためには、言って聞かせる前に行動すること、行動させることだとわたくしは思っています。いくら考えてもよい知恵が出ないからと深刻になればなるほど、思考回路が止まり、あるいは袋小路に陥ります。世の中には、理詰めで解けない問題がたくさんあります。とにかく行動してみることが、視野を広げる大きな一歩になると思います。

「あいさつをしよう」と教えたいのです。笑顔とあいさつは、切っても切れない関係にあります。笑顔なら自然にあいさつができます。あいさつをするときには自然に笑顔がこぼれるでしょう。

小学生相手じゃないんだから、いまさら教えるのも恥ずかしいくらいだ、と大人は思うかもしれませんが、笑顔とあいさつには元気を回復するすぐれた効用があります。社会を明るく元気にするため、恥ずかしがらずに行動しようではありませんか。大人がまずあいさつをする。子どもがあいさつを返す。大人も子どもも元気になる。これでいきましょう。

P T A の 皆 さ ま へ



愛知県教育委員会
教育長
今井 秀明

愛知県公立高等学校 P T A 連合会の皆さまには、日頃から、本県の教育活動の推進に御理解と御協力をいただいておりますことに、厚く御礼を申し上げます。

とりわけ青少年の健全育成に対し学校と、家庭・地域社会との連携の核として、格別の御尽力をいただいておりますことに、心より敬意を表するものでございます。

さる6月18日には東海地区高等学校 P T A 連合会の愛知大会が盛大に開催され、東海4県の P T A 連合会の皆さまが一堂に会し、講演や研究協議をおして、P T A 活動の発展と振興について一層見識を深められたことと存じます。

高校時代は幅広い知識と確かな学力を身に付けるとともに、多様な経験をおして、心身共に成長し、規範意識や他者を思いやる豊かな心を育む重要な時期であります。

そのような、次の時代を担う若者をどのように育てていくかとい

う課題は、教育の根幹であり、学校教育はもちろん、家庭や地域社会が連携、協働し、それぞれの役割と責任を十分に理解し、社会全体で教育を進めていくことが重要です。

愛知県教育委員会においては平成19年度に策定いたしました「あいちの教育に関するアクションプラン」をもとに「家庭・地域・学校の協働による教育の推進」を基本姿勢として、様々な施策に取り組んでおります。そして、このアクションプランの基本理念を継承し、さらに実効性のある施策の推進を目指して、新しい愛知県の教育振興基本計画の策定作業を進めているところであります。

今後、家庭・地域・学校の連携の要であります P T A 活動への期待とその役割はこれまで以上に大きなものとなっております。また、その活動は子どもたちの健全な成長を目指すと同時に、保護者の皆さま自身が様々な活動をおして、自らを高め、豊かにする機会をとらえることができます。今後、愛知のよりよい教育環境の実現に向け、会員の皆さまが一層活発な P T A 活動を推進されますよう、よろしくお願い申し上げます。

「食育の難しさ」



愛知県立
鳴海高等学校
P T A 会長
棚橋 義弘

本年度本校 P T A の活動テーマは「食」です。私自身興味があり身近で保護者の関心も高いことから安易に選んだのですが、環境リサーチ評価で有名な中西準子先生の著書「食のリスク学」を読んだことで考えを改めました。

著書中の群馬大学教授高橋久仁子先生との対談で「専門教育を受けたはずの栄養士でさえ一見科学的に見える情報に惑わされ、一過的なブームに乗ってしまう」という趣旨の記述があり、体に良い悪いといった情報を過大に信奉する意味のフードファ

リズムへの陥りやすさを認識させられました。

また同時に、異業種交流的に専門分野を同居させるジェネラルリストの視点を獲得することも大切で、複眼的に「食」の情報を取扱うことの重要性をも認識しました。

食育が数学や国語のように体系的に何

東 西 南 北

をどの順序でどのように学ばせるかが明確でない現状では、安易な気持ちで食育に手をつけると商業主義に巻き込まれたり市民運動の片棒を担がされたりする事になりかねないと自戒しつつ、今年度一年間慎重に活動したいとの思いを深めました。

「経験を伝える」



愛知県立
海翔高等学校
P T A 会長
林 昭夫

今年度、愛知県公立高等学校 P T A 連合会常任理事を務めさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

近年の情報化の急速な進展により、あらゆることがスピードアップする中で、「人の心」が置き去りにされているのではないかと感じております。私の職場には「人は体験して初めて身につく」という標語が掲げられています。この標語を見るたびに、「重み」のある言葉だと感じています。

よく「身体で覚える」と言われますが、何事も一度は経験してみないと、事の良し悪しは人には語れませんし、説得力にも欠けるものです。それは人との「ふれあい」についても同じことです。いろいろな人との関わりがあつて今がある、これからも多くの人との出会

「命を大切に」



愛知県立
常滑高等学校
PTA会長
渡辺 佐一

いの中で、さまざまな経験を積み重ねていくものです。子供たちに親として何を伝え、心に刻ませるかが大事なのです。
高校生の年代ともなると微妙な距離感が必要だと思いますが、人生の先輩として、これまでの経験を生かして伝えていきたいと思えます。

先日、かけがえのない友を不慮の事故で亡くしました。事故の知らせを受け病院に着いた時にはすでに体は冷たく、信じられない思いで呆然とすると同時に、涙が溢れて止まりませんでした。彼とは長い付き合いで、ボランティアで自治会の仕事を苦勞してやってきた仲でしたが、まだやらなければならぬことが山ほどあったはずだろうに、残念でなりません。
医学の進歩により、日本人の平均寿命はここ数年世界一を誇っています。しかし、交通事故死者数は今なお年間五千人以上を数え、また、年間で三万人以上の人が自ら命を絶っているのも事実です。若者の交通事故死者数、自殺者数も決して少なくはありません。どのような事情があろうともいかな

「高い志の素晴らしさ」



愛知県立
刈谷高等学校
PTA会長
石川 泰隆

理由があるうとも、命を失ってはいけません。死は、家族に限らず周囲の人を苦しめるだけです。今、高校生のみなさんは多くの人たちに支えられながら生きていくはずですが、生きていく喜びを感じ、命を限りなく大切にしたいと願っています。大切な友の死を経験したばかりの今、特に強く感じることで。

フィギュアスケートの浅田真央選手やプロゴルファーの石川遼選手など、スポーツの世界で若い世代の人たちが世界を舞台に活躍しています。拔群のスター性や身体能力の高さは言うまでもありませんが、私が素晴らしいと感じたことは、彼らがとても高い志を持っていてことです。彼らの言葉に耳を傾けると、心に抱いている志や目標の高さと自分自身に課しているハードルの高さに感銘を受けます。多くの注目を浴びる中で、時に成績が低迷したり、思うような結果が残せなかったとしても、プレッシャーに潰れることなく、次の機会にはまた好成績を残してきています。それは、高い志を持つことで、目指している道を

「自分で考えて自ら行動する」



愛知県立
豊丘高等学校
PTA会長
本多 英司

はつきりとイメージしているからこそ、できることでしよう。今、自分が何をしなければならぬか。このことをしっかりと理解でき、そのための練習と努力を怠らなかつたからだと思えます。若い世代に改めて、高い志を持つことの素晴らしさを教えられました。

情報社会という言葉が耳にするようになって久しいですが、近年はインターネットや携帯電話に起因する問題も多く聞かえてきます。情報の扱いにはモラルや責任が伴うという認識を持つことが必要です。そして様々な媒体をとおして氾濫する情報の中から、有害

なものや価値あるものを取捨選択する為のバランス感覚や、適正に判断する力が必要とされます。これらの多くは家庭や学校での日常生活の中で培われていくと思えます。

子どもたちは自己を確立していくにつれ、自身の親に対しても先生に対しても周りの大人たちに対しても、客観的な視点で見ていると感じます。義務教育を終え、自立した社会人になるための準備をする重要なこの時期、私たちの行動が子どもたちの成長に大きく関わっていくと思えます。社会の一員である私達に向けられる子どもたちの視線を感じつつ、責任ある行動が求められていると思えます。そして、様々な情報の中から、自分に必要なことを見出し、「自分で考えて自ら行動する」ことができるような社会人へと成長してほしいと願っています。

学校の名木「ソメイヨシノ」
愛知県立豊丘高等学校



創立当時から、学校あげて取り組んだ課題の一つは校内緑化であり、これにはかなりの時間をかけました。現在、正門の両側や中庭にあるソメイヨシノは、昭和40年頃に生徒・職員が校内の土質や排水状況の悪い中、土まみれになって植えこんだものです。以来、本校の成長、発展とともに、見事に定着して、毎年入学式前後の景観は見事なものです。本校は平成24年度に創立50周年を迎えます。本校で学ぶ者たちは、今後も末長く大切に見守っていききたいと思います。

愛知県教育・スポーツ振興財団からのお知らせ

不登校理解講座

不登校の子どもを持つ保護者が子どもの心の在り方と対応の方法を学びます。

月日 10月6日(水)
会場 豊川市音羽文化ホール
講師 同朋大学教授

定員 30名(多数の場合抽選)
募集期間 8/23(月)～9/17(金)

不登校をテーマとした集団カウンセリング

不登校の高校生を持つ保護者が情報を交換し、講師から、子どもへの対応方法についてアドバイスを受けます。

月日 10月27日、11月10日・24日
12月8日・22日
(すべて水曜日開催・5日間受講)

会場 愛知県教育会館
講師 愛知産業大学心理相談員
臨床心理士 森田 英嗣

定員 12名(多数の場合抽選)
募集期間 9/20(月)～10/15(金)
※講座・カウンセリングの共通事項

開催時間 午前10時～正午
参加料 無料
申込方法 所定の申込書を郵送
申込及び問い合わせ

愛知県教育・スポーツ振興財団
教育振興課

電話 052-242-11588
HP <http://www.aichi-kyo-spo.com/>

平成22年度 愛知県高等学校総合文化祭

アートフェスタ

テーマ：ティーンエイジャーズ

ポテンシャル

ステージ部門

○8月14日(土)13時～
愛知県芸術劇場大ホール
表彰式

マーチングバンド、吟詠、
和太鼓、バトントワリング、
フアッションショー

特別出演(あいのてさん)

○8月15日(日)13時半～
愛知県芸術劇場コンサートホール

日本音楽、合唱、
器楽・管弦楽、吹奏楽
フィナーレ

○8月15日(日)10時～
愛知県芸術劇場小ホール

演劇、自然科学発表、
放送(ビデオ作品上映)

展示部門

○12月21日(火)～26日(日)10時～
愛知県美術館ギャラリーJ室
美術・工芸、書道、写真

文芸部門

○8月15日(日)10時～
愛知芸術文化センター
アートスペースA・D・E・F室

交流会、講演
問い合わせ

愛知県教育委員会生涯学習課
052-954-6781

(ダイヤルイン)

事務局だより

◎定期総会(総参加者824名)

5月21日(金) ウイルあいち

◎22年度四役

会長 長坂 光司(岡崎)

副会長 榎本 実(蒲郡)

宮原 康実(高蔵寺)

大場 幸(校長会)

会 計 石川 泰隆(刈谷)

監 事 伊藤 譲一(東海南)

功 労 者 表 彰 永井 孝典(小牧南)

下 廣 信秀(前豊明高P長) 様

はじめ189名

◎指導者研修会

講演 「高校生の親子関係と心の成長」

講師 名古屋大学大学院 教育発達科学研究科 教授 平石 賢二氏

(今年度は総会後に指導者研修会を同日開催。参加者数はその合計)

◎東海地区高等学校PTA連合会

愛知大会(愛知県参加者767名)

6月18日(金) 名古屋市公会堂

講演 「人生を仕事に捧げる」

講師 宗次 徳二氏

研究協議 豊橋商業高等学校PTA(愛知)

桑名高等学校PTA(三重)

◎第60回全国高等学校PTA連合会

東京大会

8月20日・21日に日本武道館

他で開催されます。本県から

758名参加の予定です。

大会テーマ
一人間力を育てて作ろう
大きな輪
基調講演・張 富士夫氏
記念講演・木原 雅子氏
分科会発表
豊橋商業高等学校PTA(愛知)

「学校教育とPTA」

○4月の人事異動で、事務局長に小田博一、事務局員に鶴東光二が着任しました。昨年10月に採用された加藤恵子とあわせ3人で事務局を担当します。

何分不慣れですが、御指導と御協力をよろしくお願ひします。

編集後記

「高P連だより」第75号をお届けします。御多用中にもかかわらず、快く御執筆いただきました教育長今井秀明様をはじめ、皆様方に厚くお礼申し上げます。

県高P連広報委員長
蒲郡高等学校PTA副会長

榎本 実